

港湾振興便り



2016. 1
第104号

*:

目 次

*:

- 1 ポートエッセイ 一日中韓の関係改善を土台に
東アジア大交流時代の開幕を一
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

- 冬の函館港を彩る「はこだてクリスマスファンタジー」
(函館市 港湾空港部 港湾空港振興課)
- 海に浮かぶたこ焼き？モス型LNGタンカーが初入港
(東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所)
- 新岸壁に次世代型新造フェリーが初寄港
(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

3 お知らせ

- ◇名古屋港へ“世界最大の”作業船を見に行こう！！
～ 浚渫兼油回収船「清龍丸」とクラブ浚渫船「五祥」船内見学会 ～
- ◇パワーバレンタインウィーク 2016 in 海王丸パーク
- ◇今治市港湾振興協会講演会
- ◇神戸のみなとの知育講座

*:

1 ポートエッセイ

―日中韓の関係改善を土台に

東アジア大交流時代の開幕を―

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

*:

皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年も皆さんと共に港湾を軸にして、それぞれの地域振興に努めていきます。よろしくお願いいたします。

今年はどうなるのだろうか？多くの方が年頭に思いを巡らされたことと思う。全国的な大きな課題はやはり「地方創生」であろう。一昨年暮れに国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が示され、地方では昨年末までにそれを踏まえた総合戦略を策定したところが多かった。

今年、地方での総合戦略が具体的に動き出す年にする必要がある。国の補正予算・新年度予算がこれから本格的に国会で議論される。まずはその内容に注目したいが、国土強靱化など未来につながる投資より、「ばらまき」と言われる要素が多いことは気がかりだ。

戦後70年の節目だった昨年、日本と中国・韓国の関係が大きく改善されたことは大いに歓迎したい。新潟市は日中韓の関係を文化交流、地方都市同士の交流から改善しようという「東アジア文化都市」の日本代表都市に選んでいただいた。

3月に中国のパートナー都市、青島市でオープニングイベントが開かれたが、陣頭指揮に当たったのは市共産党委員会の李群書記だった。共産党委員会書記は市ナンバーワンの実力者だが、普通、地方都市同士の交流では姿を見せない。その書記が事業を仕切っていることで中国が日本との関係改善を願っていることを実感することができた。中国は日本との交流を本格化させないと経済がもたない状況なのだとも。

その後の展開を見れば、予測は当たった。久しぶりに日中韓3国の首脳会合が実現し、日本各地が中国からの「爆買い観光客」で活性化。年末には日韓の関係も大きく改善した。今年、中国の経済減速は不安要素だが、だからこそ日中韓を中心に東アジアの大交流時代を確かなものにする必要があり、その可能性も高い―そう新年の集いであいさつをしていたところに北朝鮮の核実験が報じられた。これほどに東アジア情勢は難しい。しかし、ここでも日本は、米国はもとより中国・韓国との関係を強化して事に当たる必要がある。

東アジア大交流時代の夢を叶え、港湾を活用した活性化を実現する年としたい。今年もよろしく願います。

*:

2 トピック

*:

●冬の函館港を彩る「はこだてクリスマスファンタジー」

(函館市 港湾空港部 港湾空港振興課)

11月28日(土)～12月25日(金)の間、海上に浮かぶ高さ約20メートルの巨大ツリーを彩る「はこだてクリスマスファンタジー」が、みなとオアシス函館の赤レンガ倉庫群前で開催されました。

今年で18回目となるこのイベントの主役のツリーは、函館市の姉妹都市カナダ・ハリファクス市から毎年贈られるもので、もちろん函館港でお迎えしています。

イベント初日のオープニングセレモニーでは、河内実行委員長や工藤函館市長らの「メリークリスマス!」の掛け声でツリーが点灯すると、祝福の花火が打ち上がり、その後、はこだて観光大使を務める歌手、平田まりさんのミニコンサートが行われ、さらに、ツリーには14万8000個のLED電球や、平成28年3月26日に開通する北海道新幹線の車体にちなんだ紫色の装飾が施され、函館らしさたっぷりのイベントに、集まった観客のたくさんの歓声がベイエリアに響き渡りました。



●海に浮かぶたこ焼き？モス型LNGタンカーが初入港

(東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所)

平成27年12月22日、八戸港にモス型タンカーが初入港しました。CMで能年玲奈さんが「たこ焼きみたい」と表現したことで話題となりました。平成27年1月の試験船から5隻めのタンカーとなる「グランドアニバ」は全長277m、幅49mで、6万5500トンのLNGを積み込みサハリンから航海してきました。



●新岸壁に次世代型新造フェリーが初寄港

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

四国地方整備局と徳島県では、平成21年度より徳島小松島港沖洲外地区複合一貫輸送ターミナル整備事業を進めていますが、平成27年3月に完成した「沖洲外地区岸壁(-8.5m)(耐震)」に、去る平成27年12月26日に、トラックの積載台数が約190台(従来船は約120台)となった新造フェリー「フェリーびざん」が初入港し、運航会社オーシャントランス(株)による記念式典が開催されました。

記念式典は、新しく岸壁背後に整備されたフェリーターミナルビルにおいて、式典の主催者であるオーシャントランス(株)、国や県の関係者ら約35名が出席して行われました。

式典で、飯泉徳島県知事から「平時は人、車両、物流の一大拠点として、災害が発生した場合は、

南海トラフ巨大地震を迎え撃つ海の玄関として機能することが期待される」との挨拶がありました。

新造フェリー「フェリーびざん」は、平成28年1月3日より定期航路に就航しました。

今後、同型の新造フェリーは、年内に全4隻が就航する予定となっており、徳島小松島港から、東京港・北九州港への海上輸送効率が格段に向上するものと期待しています。



従来フェリー

新造船(びざん)

新旧フェリーが同時に寄港(手前が従来フェリー、奥が新造フェリー)



新フェリーの入車状況(上層部から入庫)



新フェリーの出車状況(下層部から出庫)

3 お知らせ（みなとのイベント情報）

◇名古屋港へ“世界最大の”作業船を見に行こう！！

～ 浚渫兼油回収船「清龍丸」とグラブ浚渫船「五祥」 船内見学会 ～



グラブ浚渫船「五祥」



浚渫兼油回収船「清龍丸」

開催日時：平成28年1月29日（金）～1月30日（土）

各日10時～14時

会場：名古屋港ガーデンふ頭2号、3号岸壁

（名古屋市港区港町1-15、地下鉄名港線名古屋港駅徒歩約7分）

概要：世界最大の浚渫兼油回収船である「清龍丸」と世界最大の200m³グラブを有する浚渫船「五祥」を一度に見ることができます。

参加費無料で、申込み不要です。是非、名古屋港へお越しください。

問合せ先：中部地方整備局名古屋港湾事務所企画調整課

TEL 052-651-6763

◇パワーバレンタインウィーク 2016 in 海王丸パーク

開催期間：平成28年2月6日（土）～平成28年2月14日（日）

開催場所：海王丸パーク

概要：2月14日の帆船海王丸の進水記念日（誕生日）とバレンタインデーを記念したイベントを開催

<http://www.valentineweek.net>（海王丸バレンタインウィーク専用サイト）

主催：公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

TEL 0766-82-5181 <http://www.kaiwomaru.jp/>

